

基本目標1 それぞれの生き方を目指そう(基本施策1～3)

基本施策1 女性のための学習講座の充実

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
1	働く女性のためのスキルアップセミナー	地域経営課	継続	<p>実施時期:令和2年11月1日(日)・11月15日(日)(2回連続講座)</p> <p>対象:働く女性</p> <p>目的:働く女性の学習機会を提供するとともに、学習を通じての仲間づくりや交流を促進する。</p> <p>内容:子育てや家事と仕事の両立について、その他仕事のスキルアップにつながる内容の講座を開催する。</p> <p>前年度からの改善点:職場や家庭で必要になるスキルで実践しやすい内容とすることで、2回連続の受講につなげる。</p> <p>目標値:仕事と家庭の両立において参考になったと回答した人が7割以上</p> <p>予算額:34千円</p>	<p>【実施状況】</p> <p>参加者数:実数9人(1回目:9人、2回目:7人、うち2回連続参加7人)</p> <p>内容:1回目…明日から役立つ!～ストレスマネジメント術～</p> <p>2回目…「伝わる」伝え方を学ぶ!～自分も相手も大切にコミュニケーション～</p> <p>講師:宮川一二三氏(ヒューマンスキル研究所代表・産業カウンセラー)</p> <p>工夫した点:新型コロナウイルス感染症対策として例年よりも開催時間を短縮し、講義形式のセミナーを開催した。コロナ禍における職場や家庭において興味・関心を引く内容を設定した。セミナーの周知のため、「三条市勤労者福祉共済だより」に記事を掲載し、周知に努めた。</p> <p>目標値に対する結果:アンケートで仕事と家庭の両立において参考になったと回答した人が100%(9/9人)で目標値達成</p> <p>決算額:20千円</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施したが、ワークショップが無いことや時間設定が短いといった声も見受けられた。今後も受講満足度を高めるために開催時間や内容を工夫していく。</p>	<p>A</p> <p>1…3点</p> <p>2…3点</p> <p>3…3点</p> <p>4…3点</p> <p>5…2点</p> <p>6…2点</p> <p>合計</p> <p>16/18=88.9%</p>
2	ひまわり専科	生涯学習課(嵐南公民館)	継続	<p>実施時期:6月～12月</p> <p>対象:成人女性</p> <p>目的:家庭や社会を取りまく生活環境の変化に対応して、女性を中心に、これからの生き方や生活・健康など暮らしの知識を取得する学習を通し、趣味や教養を深めるとともに、仲間づくりといきいきとした社会生活に役立てることなどを目的に開催する。</p> <p>内容:①コソボ共和国を知ろう②蒔絵体験③太極拳④アングーマネジメント⑤パンづくり⑥ピラティス⑦レジンでアクセサリ⑧八丁紙で干支の飾り作りというテーマで8回開催する。</p> <p>前年度からの改善点:昨年度と違うテーマや講師をお願いし、市民の需要に応えるべく、時事テーマや運動体験を積極的に取り入れて計画した。</p> <p>目標値:男女共同参画について考える機会になったと回答した割合80%以上</p> <p>予算額:64千円</p>	<p>【実施状況】</p> <p>参加者数:18人(うち女性18人)</p> <p>内容:計画通り実施。女性が、教養を深め、自分自身を高めて充実した生活を送る助けとなった。</p> <p>工夫した点:全体を通して、女性が生き生きと生活できるよう、趣味と教養の幅を上げられるように計画した。</p> <p>目標値に対する結果:男女共同参画について考える機会になったと回答した割合25%で目標値未達成</p> <p>決算額:63千円</p>	<p>来年度からは、更に内容を工夫し、男女の役割分担意識への捉われを無くすような具体的な企画を考えようと思う。</p>	<p>B</p> <p>1…3点</p> <p>2…3点</p> <p>3…3点</p> <p>4…2点</p> <p>5…1点</p> <p>6…2点</p> <p>合計</p> <p>14/18=77.7%</p>

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
3	女性セミナー	生涯学習課 (栄公民館)	継続	実施時期:1月～3月 対象:主に栄地区の成人女性 目的:「男だから」「女だから」という固定的役割分担意識を変えていく。 内容:「固定的役割分担意識」チェックシートを取り入れ、「男女共同参画」について考える機会にする。 前年度からの改善点:普段の生活の中での固定的役割分担意識など男女共同参画を自分事として捉えてもらう機会を作る。 目標値:男女共同参画について考える機会になったと回答した割合80%以上 予算額:23千円	【実施状況】 参加者数:10人(そのうち女性10人) 内容:全3回開催 ①マインドフルネス～ストレッチと瞑想でストレス解消～②人間関係の悩みを減らすための、とっておきメソッド③春の鳥刺繍エコバックの会 工夫した点:最終回に、「あなたの中の固定的役割チェック」を取り入れ、男女共同参画について考えてもらう機会を作った。 目標値に対する結果:男女共同参画について考える機会になったと回答した割合が80%以上だったため目標値達成 決算額:22千円	日曜日の午前中で開催することが好評だったため、次年度も今年度と同様の形で開催予定。また、新規参加者への周知を更に工夫していく。	A 1…3点 2…3点 3…3点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 18/18=100%
4	女性セミナー	生涯学習課 (下田公民館)	継続	実施時期:6月～12月 対象:主に下田地区の女性 目的:女性が現代社会において知識の習得や教養の向上を目指し、様々な事を学習し、豊かで充実した生活を送れるよう開催する。 内容:①開講式・地震・台風・災害に備えて！自分で出来る我が家の耐震診断 ②運気の流れを知って未来を切り拓く③未病を防ぐ足裏健幸講座④省エネと食品ロスの関係～捨てるお金を減らしましょう～⑤植物染めでお洒落な小物作り⑥手作り塩麴で絶品料理⑦開講式・お正月を彩るフラワーデザイン ※新型コロナウイルス対策のため、料理実習の開催は講師と相談中。女性が様々な内容を学べるよう、全8回実施する。 前年度からの改善点:女性の体の悩みや防災・省エネなど生活に直結した内容を取り入れ、学ぶことにより充実した生活を送れるよう内容を工夫した。 目標値:男女共同参画について考える機会になったと回答した割合80%以上 予算額:44千円	【実施状況】 参加者数:31人(うち女性31人) 内容:計画通りに実施。※料理実習はコロナ感染防止対策のため講師と相談の上、中止 工夫した点:家の補強などを男性のみに任せるのではなく女性にも考えてもらえるように耐震診断などの講座を実施した。また省エネを学び、自らの生活様式を顧みる機会を作り好評だった。 目標値に対する結果:男女共同参画について考える機会になったと回答した割合が80%以上だったため目標値達成 決算額:29千円	新型コロナウイルスの感染を心配した講師からの申出で調理実習が出来なかった。作ってみたことがないメニューの調理をすることにより家庭での料理の幅が広がることもあり来年度は実施したい。	A 1…3点 2…3点 3…3点 4…3点 5…3点 6…2点 合計 17/18=94.4%
5	男女共同参画講座	地域経営課	継続	実施時期:令和2年11月21日(土) 対象:一般市民 目的:「ひと(女)」と「ひと(男)」にかかわる様々な課題について、広く市民が気づき、考えるきっかけとなる機会を提供し、男女共同参画社会づくりにつなげていく。楽しみながら自然と男女共同参画の考え方に触れてもらうきっかけとすることを目指す。 内容:お笑い芸人の方から男女共同参画の視点も取り入れたお笑いトークライブを行う。併せて、男女共同参画フォトコンテストの入賞作品(H27)展示や啓発物品を配布し、広く啓発を行う。 前年度からの改善点:特に親子連れ等の新規参加者を獲得するため、お笑いトークライブとして開催した。 目標値:男女共同参画について関心や理解が深まったと回答した割合80%以上 予算額:220千円	【実施状況】 参加者数:46人 内容:トークライブ～保育士芸人ボボの自分らしく輝くお笑いトークライブ～ 出演:芸人 金子 ボボ 氏 工夫した点:しらさぎ荘と連携しながら周知したことで収容人数ぎりぎりの参加者を集めることができた。 目標値に対する結果:男女共同参画について関心や理解が深まったと回答した割合80%(20/25人)で、目標値達成 決算額:78千円	新型コロナウイルス感染症対策として、収容人数の半数を定員として開催したが、多くの人に参加しただけ。来年度もマンネリにならないよう内容を検討していく。	A 1…3点 2…3点 3…3点 4…2点 5…2点 6…3点 合計 16/18=88.9%

基本施策2 男性のための男女共同参画に関する啓発

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
6	男の料理教室	生涯学習課 (大崎公民館)	継続	<p>実施時期:1月～2月(3回) 対象:大崎・保内地区の成人男性 目的:料理の楽しさを体験することで、男性が料理に興味を持ち、家庭での家事参加につながるよう開催する。 内容:男性が料理を作る楽しさを感じ、家事に参加するきっかけとなるように料理教室を実施する。家庭で作れる料理(全3回) 会場:大崎公民館 料理実習室 定員:12人(新型コロナウイルスの状況により、減少する可能性あり) 前年度からの改善点:昨年度好評だった、洋食シリーズなどのテーマで構成した連続講座を行う。また、アンケートで要望のあった家庭でも作れる料理を学ぶ内容とすることで、受講生の参加を促す。 目標値:教室受講後に、実際に家で作ってみた人の割合が50%以上 予算額:21千円</p>	<p>【実施状況】 参加者数:8人(うち男性8人)※定員を8人に減らして開催 内容:①インド料理(チキンヨーグルトカレー等)②中華料理(酢豚等)③タイ・ベトナム料理(ナシゴレン等) 上記の地域料理をメイン料理とした、作りやすい一食分の食事を作る。食器などの片付けも含めた料理をすることで実生活の中でも実践しやすくなる。 工夫した点:できるだけ日常生活で作りやすい献立を扱うように講師と相談をして決めた。またレシピは見返したときに分かりやすいように、具体的な時間や量を明示し、分かりやすい語句を使うよう心掛けた。 目標値に対する結果:アンケート結果において「この講座を受講して、実際に家庭で料理をしてみた」割合が87.5%だったため、目標値達成 決算額:21千円</p>	<p>ここ2年ほど特別な日の料理がメインの講座が続いたため、来年度は家庭料理を中心として開催する。</p>	<p>A 1…3点 2…3点 3…3点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 18/18=100%</p>
7	男の料理教室～男性厨房へようこそ～	生涯学習課 (本成寺公民館)	継続	<p>実施時期:未定 対象:主に本成寺地区の男性 目的:日常生活で家事に積極的に参加することができるよう開催し、仲間づくりと、男女共同参画の啓発を図る。 内容:男性が料理を作る楽しさを知り、基本的な技術を習得する機会と参加者同士の交流の場として開催する。①魚のさばき方 ②かんたんイタリアン 前年度からの改善点:旬の食材を使い、男性でも簡単に料理ができるメニューを工夫して開催する。 目標値:教室受講後に、実際に家で作ってみた人の割合が50%以上 予算額:5千円</p>	<p>【実施状況】 参加者数:8人(うち男性8人) 内容:11月…ごはん、サバの味噌煮、あじのたたき、あら汁 12月…ミックスピザ、簡単サンドイッチ(2種) アンケートの満足度も高く、「今後も家で定期的に料理を作りたいか」の回答が100%だった。 工夫した点:昨年度のアンケートで要望の多かった「魚のさばき方」ではプロの料理人、2回目の「かんたんイタリアン」では食堂店主の方に来ていただき、全く趣向の違った内容を選定した。準備・片付け等も積極的にしていただき、料理を作るだけでなく、台所に立つことが増えた方もいられた。 目標値に対する結果:受講後に「実際に家で作ってみた」人の割合が60%で目標値達成 決算額:2千円</p>	<p>コロナ禍ということもあり、今後は定員を減らしての開催になると思われる。ここ数年は地区の新規参加者がほとんどなく、新規確保に苦戦しているため、来年度は実施するかどうか検討中</p>	<p>A 1…3点 2…3点 3… 4…3点 5…3点 6…3点 合計 15/15=100%</p>

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
8	男性料理教室	生涯学習課 (大島公民館)	継続	<p>実施時期:未定 対象:主に大島・須頃地区の男性 目的:日常生活で、家事に積極的に参加することが出来るよう開催し、男性への男女共同参画の啓発を図る。 内容:男性が家事に積極的に参加するきっかけとなるように料理教室を開催する。参加者が家でも簡単に料理することができるように、献立を工夫して開催する。 前年度からの改善点:旬の食材を使い、食材の種類が多くなるようにメニューを工夫して開催する。 目標値:教室受講後に、実際に家で作ってみた人の割合が50%以上 予算額:36千円</p>	<p>【実施状況】 参加者数:4人(そのうち男性4人) ※申込者は5人 内容:①ブイヤベース等②油淋鶏等 アンケートでは、「興味深い内容だった」「気軽にできた」との回答が多数あった。 工夫した点:家でも作りたくなるようなメニューを講師と相談して計画した。コロナ禍で店員を少なくしたため、参加者は今までよりも作業することが多く、料理を覚えられたのではないかと思う。 目標値に対する結果:学んだ料理を家で実際に作ってみたという人が50%で目標値達成 決算額:14千円</p>	<p>講座の対象者を大島・須頃地区の成人男性としているが、何年も地区外の方ばかりで、地域住民の参加者がほとんどなく、参加者の確保に苦慮しているため、次年度は実施しない。</p>	<p>A 1…3点 2…3点 3…ー 4…3点 5…3点 6…1点 合計 13/15=86.7%</p>
9	男の料理教室	生涯学習課 (栄公民館)	継続	<p>実施時期:9月～12月 対象:栄地区の成人男性 目的:「男だから」「女だから」という固定的役割分担意識を変えていく。 内容:一汁一菜をテーマに、「自分で作れる」「誰かに作って喜ばれる」「また作りたくなる」料理を学ぶ。また、固定的役割分担意識チェックシートを取り入れ、料理を通じて「男女共同参画」について考えてもらう。 会場:農村環境改善センター 前年度からの改善点:男性が気軽にキッチンに立ち、手軽で作りやすいメニューを取り入れる。料理を入口に、固定的役割分担意識など男女共同参画を自分事として捉えてもらう機会を作る。 目標値:教室受講後に、実際に家で作ってみた人の割合が50%以上 予算額:28千円</p>	<p>【実施状況】 参加者数:8人(うち男性8人) 内容:料理初心者でも取り組みやすいメニューの選定 ①基本の和風めし(きのこの炊き込みご飯等)②基本の和風めし(鶏五目めし等)③ごちそう週末めし(肉豆腐等) 工夫した点:簡単に作れて美味しくまた作りたくなるような、家族など人に作って喜ばれるようなメニューを選定した。また、「固定的役割分担意識」に関するチェックシートを最終回にやってもらい、男女共同参画について考える機会を作った。 目標値に対する結果:教室受講後に実際に家で作ってみた人の割合が62.5%で目標値達成 決算額:21千円</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮して、例年よりも定員を減らしたが、来年度もこの形で開催する予定。新規参加者への周知を工夫する。</p>	<p>A 1…3点 2…3点 3…3点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 18/18=100%</p>

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
10	プロから学ぶ男の料理教室	生涯学習課 (下田公民館)	継続	<p>実施時期:10月～12月 対象:主に下田地区の男性 目的:男性に多い、固定的性別役割分担意識を無くし、料理を楽しく感じられること、またその後の生活に活かしてもらえることを目的とする。 内容:男性が料理に興味をもち、その後の家事の参加のきっかけになるよう、また仲間作りに役立てるよう、男性向けの料理教室を開催する。和食の基本をプロの料理人に教えてもらう。 会場:下田保健センター 講師:越前屋ホテル 山崎 勝市さん 定員:10人 前年度からの改善点:まずは興味をもってもらうためにも昨年度のアンケートを参考に作りたいメニューを取り入れつつ、プロに基本をしっかりと教わるような講座とする。 目標値:教室受講後に、実際に家で作ってみた人の割合が50%以上 予算額:21千円</p>	<p>【実施状況】 参加者数:14人(うち男性14人) 内容:第1回:親子丼、味噌汁、第2回:和風ハンバーグ、第3回:鍋焼きうどん 作ってみたい料理、また作りやすい料理を考え、家庭での実践に役立てた。 工夫した点:身近で自分でも作れそうな内容を考えた。自分では出来ないと諦めることのないよう、家で作る時のことも含め、調味料のメーカーなども講師に教えていただいた。 目標値に対する結果:教室受講後に実際に家で作ってみた人の割合が50%で目標値達成 決算額:21千円</p>	<p>友人を誘ってくれる方も増えたため、更に新規受講者を増やすよう内容を充実させる。</p>	<p>A 1…3点 2…3点 3…3点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 18/18=100%</p>
11	認知症サポーター養成講座	高齢介護課	継続	<p>実施時期:年間 対象:市民 目的:男女問わず、誰もが認知症の人やその家族の気持ちを理解し、認知症の人を地域で支える必要性を啓発することで、男女が共に暮らしやすいまちづくりを目指す。 内容:認知症について、正しく理解し、認知症の人を誰もが温かく守る地域づくりを進めるため、地域における見守り役となる認知症サポーターの養成を行う。前年度に引き続き、小中学生を含む若い世代に加え、高齢者が訪れる機会が多い企業を対象とした講座が開催できるよう対象団体に周知し、講座の開催を呼び掛ける。 講師:キャラバン・メイト 前年度からの改善点:若い世代の認知症サポーターを養成するため、企業だけでなく、小中学校に対しても講座開催の周知を行う。また、講座に従事できるキャラバン・メイトを育成する。 目標値:認知症サポーター養成講座受講者数 600人 予算額:355千円</p>	<p>【実施状況】 参加人数:455人(うち男性148人、女性307人) 内容:認知症について、正しく理解し、認知症の人を誰もが温かく見守る地域づくりを進めるため、地域における見守り役となる認知症サポーターの養成を行った。 【講師】キャラバン・メイト 実施回数:25回 受講対象団体区分別:(住人:10回 企業団体:7回 学校:3回 行政:5回) 工夫した点:高齢者等の見守りに関する協定を締結した企業に対して講座を実施することで、男女問わず、誰もが暮らしやすいまちづくりを目指した。 目標値に対する結果:受講者数455人で目標値未達成(達成率75.8%) 決算(見込)額:67千円</p>	<p>今年度は、小中学校で講座を実施するために校長会で周知を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響で、申込みは無かった。 来年度も引き続き関係機関への周知を行い、各圏域で1校程度講座を実施できるよう働き掛けたい。</p>	<p>A 1…— 2…1点 3…3点 4…3点 5…3点 6…2点 合計 12/15=80%</p>

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
12	育児講座	子育て支援課	継続	<p>実施時期: 通年(予定)</p> <p>対象: 乳幼児の保護者</p> <p>目的: 子育て拠点施設に来館し、講座に参加してもらうことで、男性が女性とともに育児に関わるためのきっかけとする。</p> <p>内容: 子育て拠点施設(すまいるランド及びあそぼって)において、男性が参加しやすい講座を実施する。(月1回程度予定)</p> <p>前年度からの改善点: 平日の主な利用者は女性であることから、土、日、祝日などに男性が子どもと一緒に参加しやすい講座を開催する。また、参加募集時の表現に注意する。</p> <p>目標値: 男性参加率25%以上</p> <p>予算額: 30,912千円(指定管理委託料に含む)</p>	<p>【実施状況】</p> <p>参加者数: 179人(うち男性32人、女性147人)</p> <p>内容: すまいるランド121人(うち男性20人、女性101人)・自由に作って遊ぼう(第1日曜日)・親子で作ろう(第3日曜日)(10回)</p> <p>あそぼって58人(うち男性12人、女性46人)・つくってあそぼう(第1日曜日)(5回)</p> <p>工夫した点: 前年度同様、男性が子どもと一緒に参加しやすい土、日、祝日などに講座を開催することで、男女双方の利用促進に努めた。</p> <p>目標値に対する結果: 男性参加率は、すまいるランド16.5%、あそぼって20.7%となり、両施設合計では17.9%で、目標値未達成</p> <p>決算(見込)額: 30,912千円(指定管理料に含む)</p>	<p>緊急事態宣言下の休館措置及び感染症対策による各種講座の実施方法の見直し等により開催回数・参加者数ともに大きく減少している。</p> <p>来年度は、性別を問わずこれから親になる人向けに新たな講座を開催する予定である。(仲間づくりや子育て経験者からの経験談を聞く機会としたい)</p> <p>少しでも男性の育児参加に繋がるような講座の開催を検討する。</p>	<p>B</p> <p>1…3点</p> <p>2…3点</p> <p>3…3点</p> <p>4…2点</p> <p>5…2点</p> <p>6…1点</p> <p>合計</p> <p>14/18=77.7%</p>
13	男女共同参画講座(再掲)	地域経営課	継続	No.5に同じ			

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
14	男女共同参画出前講座	地域経営課	継続	<p>実施時期: 通年 対象: 市内各種団体 目的: 男女共同参画意識の醸成を図る。 内容: 各種団体の勉強会などに講師を派遣し、男女共同参画の視点からの内容を話してもらう。 前年度からの改善点: テーマについて内容を再検討。新たにLGBTに関するテーマを追加するなど、幅広いテーマを用意し、参加につなげる。 目標値: 年間7回以上開催 予算額: 64千円</p>	<p>【実施状況】 実施回数: 9回(1月末現在) 参加者数: 349人(うち男性144人、女性205人) 内容: 「怒りの感情と上手につきあうために～アンガーマネジメント体験クラス～」1回、「自分らしさを生きる心と体のセルフメンテナンス～笑おう!ほぐそう!心とカラダ～」1回、「心の健康づくりから生まれるイキイキライフ～脳と心とカラダのつながりから創るストレスケア～」3回、「もっと自分が好きになる!～魔法のコミュニケーション術～」1回、「自分も相手も大切に!～ストレス知らずに毎日を過ごす方法～」3回 工夫した点: テーマの充実を図った。(LGBTに関するテーマの追加) 目標値に対する結果: 年間9回開催で目標値達成 決算(見込)額: 72千円</p>	<p>テーマの中でも申込状況に若干の偏りが見られる。テーマの文言や内容の見直しを含め、魅力的なメニュー作りを進める。</p>	<p>A 1…3点 2…3点 3…3点 4…2点 5…2点 6…2点 合計 15/18=83.3%</p>
15	農業従事者向け広報・啓発	農林課	継続	<p>実施時期: 通年 対象: 市内農業従事者向け説明会参加者及び農業関係協議会事業参加農業者 目的: 農業従事者は従前から家族労働を基準とした方が多く、男女共同参画についての関心が非常に薄いのが現状と思われる。そのため、農業従事者が集まる機会を有効的に活用し、男女共同参画の理念やワークライフバランスを周知いただき、家屋内での理解を深めてもらいながら実践していただく。 内容: 農業従事者が多数集まる機会を利用し、広報誌等の配布物を活用して家庭内で家族と検討してもらう。 前年度からの改善点: 資料配布後に行った意見交換会が年1回のみ開催された。今後は複数回実施出来るように計画していく。 目標値: 農業関係講演会を開催する時に、男女共同参画に関する資料を配布する。また、女性農業者から男女共同参画への関わり方に関する意見聴取を年2回以上設定する。</p>	<p>【実施状況】 参加者数: 8人(うち女性8人) 内容: 農村生活アドバイザー会議時に、男女共同参画に関する資料を配布し、女性農業者の立場から男女共同参画への関わり方についての意見を聞く場を2回設けた。 工夫した点: 農業生活アドバイザー会議の議題に男女共同参画を議題の一つとして取り入れた。 目標値に対する結果: 資料配布及び意見聴取を2回開催で目標値達成</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響もあり、本年度は農村生活アドバイザーの話し合いの場が例年より少なかった。三条市農業担い手協議会とも連携した活動を行うことにより、今後の推進活動に繋げていきたい。</p>	<p>A 1…— 2…— 3…— 4…3点 5…3点 6…3点 合計 9/9=100%</p>

基本施策3 方針・政策決定の場等への女性の参画促進

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
16	審議会等への女性委員の登用率向上のための指導	行政課	継続	<p>実施時期: 通年 対象: 審議会等を運営する各課 目的: 定期的な各課への周知や原因分析をすることにより、積極的に女性委員を登用し、男女共同参画の啓発を図る。 内容: 「審議会等の設置、運営等に関する指針」に基づき、その適正な運用について継続的に指導、助言、周知を図る。 また、特に女性委員登用率が低い審議会等については、推薦を依頼する団体に、長に限らず女性を推薦してもらう協力要請を繰り返し働きかけていくとともに、公募枠の委員や有識者・学識経験者の選定について女性の登用を配慮する等、令和2年度登用目標率30%の達成に向けて取り組む。 前年度からの改善点: 引き続き、団体から推薦いただく委員については可能な限り女性の推薦を依頼するよう推薦依頼文に明記するとともに、公募枠、有識者・学識経験者枠の選定についても女性を積極的に登用するよう各課に働きかける。また、各課へ女性委員の登用率向上に向けた推薦状況に関するヒアリングを随時行う。 目標値: 女性登用率30%(令和2年度中)</p>	<p>【実施状況】 参加者数: 一人 内容: 審議会委員等のデータ更新作業依頼時(年4回)に、推薦を依頼する団体等に対して長に限らない女性委員の推薦協力の要請や公募枠の委員、有識者・学識経験者の選定に女性を積極的に登用する等の周知を図った。また、女性登用率の低い審議会等については必要に応じて実施状況等のヒアリングを実施した。 工夫した点: 地域経営課職員と審議会所管課を訪問し、委員推薦を依頼する際の文書には女性の積極的な推薦をお願いしたい旨を必ず明記するよう、再度依頼した。 目標値に対する結果: 女性登用率24.22%(令和3年1月1日時点)で目標値未達成</p>	<p>引き続き、団体から推薦いただく委員については可能な限り女性の推薦を依頼するよう要請するとともに、公募枠、有識者・学識経験者枠の選定についても女性を積極的に登用するよう周知を行う、また、実施状況等のヒアリングも継続して行っていく。</p>	<p>B 1…一 2…一 3…一 4…2点 5…2点 6…1点 合計 5/9=55.5%</p>
17	農業関係協議会等における女性の参画促進	農林課	継続	<p>実施時期: 通年 対象: 市内農業従事女性 目的: 農業従事者である女性の家族の意見を取り入れる体制を作りあげる。その意見を地域農業に反映させることにより、女性主体の農業の確立を目指す。 内容: 農業関係協議会への女性の参画促進を図る。「三条市農業担い手協議会」で行う講演会・総会等の出席案内において、役員以外の女性会員へは案内封書だけではなく、直接的な声掛けを行い女性の参画を促す。また、役員全員が男性のため、女性役員を配置する。複数名の女性役員を設置し、順番で会議に参加する等の柔軟な体制を取る。役員会議時間帯は平日夜に行っているため、女性が参加しやすい平日か休日の昼間に会議を行う回も設定していく。 前年度からの改善点: 意見交換会等を開催する時間がなかった。今後は会議の次第に取り入れて、複数回実施出来るように計画していく。 目標値: 「三条市農業担い手協議会」における女性役員を1名以上増やす。</p>	<p>【実施状況】 参加者数: 0人 ※新型コロナウイルス感染症対策により中止 内容: 「三条市農業担い手協議会」は三条市の農業者で構成された会であり、主な活動内容は、情報交換会、視察研修会、総会で会員の交流を図りながら、地域の農業発展について考える会である。 例年の情報交換会では、農業関係者や食育に関する講演会を行っている。 工夫した点: 講演会の議題に男女共同参画を取り入れた議題を取り入れていただくように提案したが、R2年度の講演会は新型コロナウイルス感染症対策により2回とも中止となり特に工夫が出来なかった。女性役員を増やすためには、会員全体に占める女性会員数を増やす継続的な取組も必要である。 目標値に対する結果: 女性役員0名で目標値未達成</p>	<p>三条市農業担い手協議会は会員数170名のうち女性会員は5名で構成されている(R3.2.5) 現在、女性の会員数が少ないため、家族会員から増加させるための方策を役員に検討してもらう。</p>	<p>C 1…一 2…一 3…一 4…1点 5…1点 6…1点 合計 3/9=33.3%</p>